

世界で初めて、原産地を
保証する制度を作った



©Bridgeman Images / amanaimages

フィレンツェを支配するメディチ家出身のトスカーナ大公ジョゼフ3世。1716年にキャンティ・クラッシコの場合にも3つのワイン地域を定めた人物

柳 やつぱりわかってない。
柳 今更ながら……と言えば、先日、大いに見直したワインがあるんだ。クラッシコはキャンティ・クラッシコって知ってる？
柳 キャンティならもちろん知ってますよ。近所のバスタハウスにも置いてあるし。イタリアで一番有名なワインじゃないですか。

柳 今更ながら面白いですよね。
柳 ああ、クラッシコ(担当編集の高倉)。映画を観たらその後が気になっちゃって。今、コミックを1巻目から読んでいます。結末を知ってても絶対言わないですよ。
柳 今更ながら面白いですよね。

本来のキャンティとは
軽井沢でいう旧軽井沢

この12本に おまかせ

柳 忠之の



楽しいはずなのに頭を悩ます
ワイン選び。数多ある中から
達人が厳選したこの12本を
制覇したとき、貴方はもう、
ワイン選びに臆さなくなるはずだ!

今後紹介する12本の
ラインナップはこちら

- 通好みのシャンパーニュ
- 今号のテーマ
- イタリアのサンジョヴェーゼ
- カリフォルニアのカベルネ・ソーヴィニヨン
- ギリシャのクシノマヴロ
- 辛口のロゼ
- オーストラリアのグルナッシュ
- アルゼンチンのマルベック
- ポルトガルのアルヴァリーニョ
- 日本のスパークリング
- 南アフリカのシュナン・ブラン
- 山梨のマスカット・ペーリーA
- ニュージーランドのピノ・ノワール



ワインジャーナリスト
柳 忠之氏
世界中のワイン産地を東奔西走する、フリーのワインジャーナリスト。迷えるピギナーの質問に、親身になって答えるワインの達人

領土争いに使われた
黒い雄鶏がマークに



中世、キャンティ・クラッシコ地区を挟むフィレンツェとシエナは敵対。領土の境界線を、互いの騎士が雄鶏の鳴き声とともに出発し、出会った場所にしようとした。という故に因む

イタリアワインを代表する「キャンティ」の最高峰!

Ceniprimo Chianti Classico D.O.C.G. Gran Selezione

チェニプリモ・キャンティ・クラッシコ・グラン・セレクトイオーネ

キャンティ・クラッシコの名門ワイナリー、パローネ・リカーソリの単一畑から生まれた最高峰格付けグラン・セレクトイオーネ。¥9,800/株式会社フードライナー©078-858-2043

2
本目

柳 今ではほとんど見かけなくな
微妙。
柳 あつ、これですね? うん、

名を名乗るものもあるよ。
柳 一まるで軽井沢ですね。キャンティ・クラッシコはいわば旧軽?
柳 うん、そんなところ。なにしろ1716年にトスカーナ大公ジョゼフ3世がキャンティと定めたエリアこそ、今のキャンティ・クラッシコだからね。ところが……。

最上級カテゴリーが
イメージアップの切札



今や希少価値が高い?!
昔は「こもかぶり」が定番

業で包まれたずんぐりボトルで、俗称は「こもかぶり」。80年代、キャンティと言ったらこれ。カジュアルなイタリアンの店には必ずあった。業を編む職人の減ったことにより、絶滅の危機だという

柳 ところが?
柳 クラッシコのようにキャンティとキャンティ・クラッシコの違いがつかない人って世間一般に多い。協会はキャンティ・クラッシコの目印として、キャンティのシンボルである黒い雄鶏のマークを貼ることにしたけど、それに気付くのもワイン通に限られるし。
柳 あつ、これですね? うん、

編集部員・高倉が飲んでみた!



透明感すらある薄い赤色に、安酒の味を想像していたら飲んでびっくり! ほどよくタンニンが効いていて、飲めば飲むほど美味しい。ふと、先日出会った、渋めて大人な彼と重なりました

にできたキャンティ・クラッシコの最上級カテゴリーで、最も厳しい規定が設けられ、ブドウはワイナリー自園のものに限られる。今月の1本に選んだ「チェニプリモ」はべらぼうに素晴らしい。パワフルさとエレガンスがせめぎ合っている感じ。ここぞというときに、全集中して、じっくりと味わうべきワインだね。